

中国古文字学研究の最前線

第1部 講演

- 戸内俊介 (二松學舎大学文学部准教授)

「出土文字資料に見える古代中国語文法の変遷—「其」を中心に—」

- 西信康 (北海道大学大学院文学研究科専門研究員)

「今振り返る、出土文字資料の発見と諸子百家の研究」

- 落合淳思 (立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員)

「甲骨文字と骨占い」

第2部 シンポジウム：中国古文字学研究の最前線

【司会】大形徹 (大阪府立大学教授／立命館大学衣笠総合研究機構客員教授)

【パネラー】戸内俊介・西信康・落合淳思・

佐藤信弥 (立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員)

2019年2月24日(日)開催

開場：12:30 / 開演 13:00 ~ 18:00

会場：立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム

事前申込不要 / 参加費無料